

●総合水沢病院改革プランの策定

総務省は、地方自治体が運営する病院の経営を健全化するため、平成 19 年 12 月に「公立病院改革ガイドライン」を策定しています。これに基づいて、病院経営の改革を総合的に取り組むことを目的とした「総合水沢病院改革プラン」を 21 年 3 月に策定しました。

改革プランの内容には、県立胆沢病院などとの機能分担を定めながら、特に需要が多い救急医療や小児救急を担うこと。そして、急性期医療後の亜急性期医療[※]の提供機能の強化を目指し、地域医療を維持していくことが記されています。

継続的な運営を行うため、▽適正規模への病床数の削減▽医業収益の向上▽人件費と経費の削減▽市の一般会計から支払われる繰入金の基準の明確化——など、病院経営を健全化するための対策を進め、収支均衡を目指します。

※亜急性期医療…病気がある程度安定した状態に回復した患者に対する医療

●公立病院特例債などで不良債務を解消

これまでの負債を解消するため、国からの公立病院特例債（18 億 6, 200 万円）の借り入れと、一般会計から水沢病院事業会計に長期の貸し付け（20 年度：4 億 4, 400 万円、21 年度：1 億円）を受け、市と一体となって、計画的に不良債務（資金不足額）の解消を進めています。

これらの取り組みによって、単年度収支は 22 年度に 1, 700 万円の黒字に、不良債務は 23 年度中に解消する見込みです。

また、一般会計からの繰入金[※]は、今後 10 年間の年平均でみると 7 億 9, 900 万円となっています。その内訳は、通常分が年平均で 5 億 9, 600 万円、公立病院特例債の償還に伴う繰り入れ分が年平均 2 億 9, 100 万円です。

※繰入金…自治体から病院の会計へ繰り入れられるお金。地方自治体で運営する病院は、地域医療を維持するために救急医療や小児医療などの不採算部門を担うため、一般会計から財政的な支援を受けている

●平成 20 年度の経営状況

総合水沢病院では、改革プランを着実に進めていくため、院内に経営改善検討委員会を設置し、さまざまな医業費用の抑制に取り組んでいます。その結果 20 年度は、単年度収支の赤字額が計画より 1 億 3, 000 万円減少し、3 億 8, 800 万円に圧縮されました（下表参照）。

◆総合水沢病院改革プランに基づく今後の推移（財務項目）（単位：万円）

区 分		19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度
単年度収支	計画当初	▲5 億 7, 600	▲5 億 2, 600	▲1 億 6, 000	1, 700	4 億 2, 400
	20 年度決算見込後	—	▲3 億 8, 800	▲1 億 6, 000	1, 700	4 億 2, 400
不良債務（資金不足額）	計画当初	24 億 0, 600	4 億 2, 600	3 億 2, 400	1 億 4, 700	▲6, 200
	20 年度決算見込後	—	2 億 8, 700	1 億 8, 500	800	▲2 億 0, 200
一般会計繰出金	通常分	6 億 6, 500	8 億 2, 700	8 億 1, 700	8 億 5, 900	7 億 6, 100
	特例債償還金分	—	—	3, 700	3, 700	4 億 0, 800
	合計額	6 億 6, 500	8 億 2, 700	8 億 5, 400	8 億 9, 600	11 億 6, 900

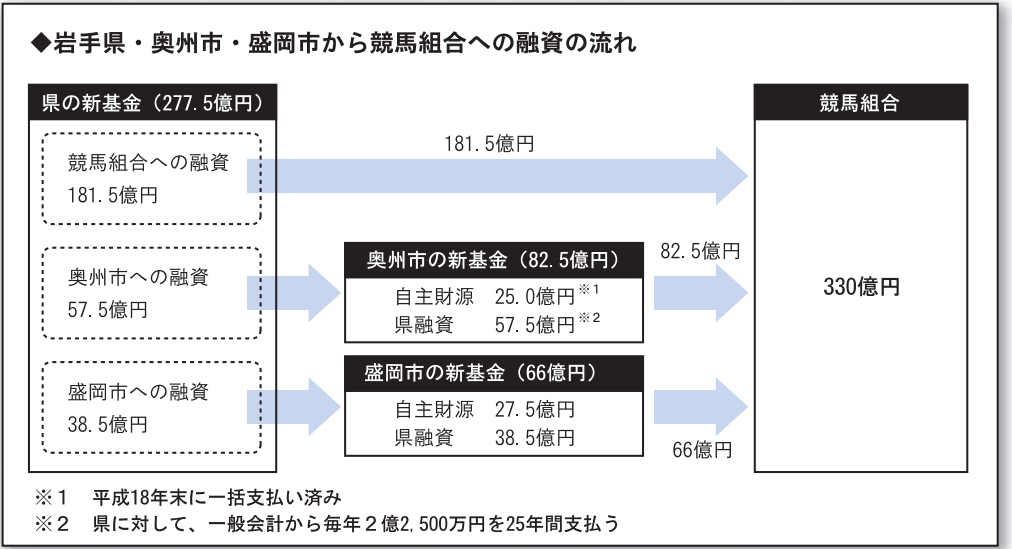
※金額は 100 万円未満を四捨五入したもの

※一般会計からの平均年間繰入金：通常分（10 年間）5 億 9, 600 万円（21 ～ 30 年度）
特例債償還金分（7 年間）2 億 9, 100 万円（21 ～ 27 年度）
合計額（10 年間）7 億 9, 900 万円（21 ～ 30 年度）

総合水沢病院経営改革の現状と今後の見込み

〔問〕総合水沢病院
管理課
（☎253833）

県競馬組合は、厳しい状況に直面していた岩手競馬の経営を再建するため、平成 18 年 11 月に「新しい岩手競馬組合改革計画（新計画）」を作成しました。この計画に基づき、これまで金融機関などから借りていた累積債務など 330 億円を、構成団体の県、奥州市、盛岡市からの融資に切り替えて、競馬事業を継続しています。



●競馬事業存廃の基準

次の 2 つの基準を定め、組合と競馬関係者が一体となって改革を推進し、岩手競馬の再生を目指しています。昨年度の決算はまだ確定していませんが、19 年度に続いて、単年度黒字を達成する見込みです。

【競馬事業存廃の基準】
・年度を通じて、経常損益で黒字または収支均衡
・収支均衡を達成する見込みがないようであれば、廃止

●21 年度岩手競馬事業運営のポイント

常にお客さまの視点に立ち、楽しさとにぎわいあふれる魅力ある競馬に取り組んでいきます。

【重点項目】

- ①魅力のあるレースの提供
- ②広域委託発売の促進
- ③インターネット発売の促進
- ④新規のお客さまの獲得
- ⑤現在のお客さまへのサービス向上

◆損益計算書（単位：万円）

区 分		18 年度	19 年度	20 年度
岩手競馬発売収入	自場発売 ^ほ か (A)	283 億 6, 100	233 億 0, 800	220 億 6, 600
その他収入	広域受託協力金 ^ほ か (B)	17 億 6, 300	23 億 5, 400	20 億 2, 800
収入合計 (C = A + B)		301 億 2, 400	256 億 6, 200	240 億 9, 400
売上原価 (D)		231 億 3, 100	189 億 8, 500	178 億 5, 700
総利益 (E = C - D)		69 億 9, 300	66 億 7, 700	62 億 3, 700
販売費及び管理費	競争関係費（賞典費）	33 億 1, 500	22 億 2, 800	20 億 7, 000
	事業運営費	52 億 8, 300	42 億 7, 500	40 億 1, 900
	計 (F)	85 億 9, 800	65 億 0, 300	60 億 8, 900
営業利益 (G = E - F)		▲16 億 0, 500	1 億 7, 400	1 億 4, 800
営業外費用（支払利息）(H)		6 億 1, 300	1 億 2, 500	1 億 0, 000
経常損益 (G - H)		▲22 億 1, 800	4, 900	4, 800

※金額は 100 万円未満を四捨五入したもの

※ 20 年度の額は現時点での見込み額

岩手県競馬組合事業運営の現状

〔問〕本庁競馬対策室
（内線 411）

